

PAT-NO: JP409277745A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09277745 A

TITLE: CASH AND JOURNAL BOOK

PUBN-DATE: October 28, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

FUKAKUSA, AKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

FUKAKUSA AKIO

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08115521

APPL-DATE: April 11, 1996

INT-CL (IPC): B42D011/00

ABSTRACT:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To solve a problem of requiring a large amount of labor and time for inputting data into a computer in transferring from a money receipt and payment slip to a cashbook for checking the cash balance, in which transfer mistakes are easily produced and much of time is required for checking and also **accounting** needs expert knowledge and sometimes a person in charge of **accounting** commits malpractice or tax evasion, and also respective slips are of different forms and lots of works are required.

**SOLUTION:** A cash and journal book A1 is provided with a cash transaction filling column 1 and a transaction filling column 2 for other than the cash displayed side by side on the right of the cash transaction column. The cash **transaction filling column 1 is provided with a date entry** column 11 in the line direction shown on the figure, a corresponding item filling column 12, a **transaction content filling column 13, a money receipt entry** column 14, a money payment entry column 15 and a balance entry column 15 in the above-said order. The filling column 2 for the **transactions other than cash is provided with a date entry** column 21 in the line direction shown on the figure, a debit amount item filling column 22, a debit amount filling column 23, a transaction content filling column 24, a credit amount filling column 25 and a credit amount

filling column 26 in the above-said order.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-277745

(43)公開日 平成9年(1997)10月28日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

B 4 2 D 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

B 4 2 D 11/00

技術表示箇所

B

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平8-115521

(22)出願日 平成8年(1996)4月11日

(71)出願人 396008440

深草 明夫

福岡県久留米市長門石4丁目4番19号

(72)発明者 深草 明夫

福岡県久留米市長門石4丁目4番19号

(74)代理人 弁理士 梶原 克彦

(54)【発明の名称】 現金出納・仕訳帳

(57)【要約】 (修正有)

【課題】現金残高の照合には入出金伝票から現金出納帳への転記が必要であるが、この際に転記ミスが生じやすく、照合に相当な時間を要していた。また、経理が専門的になり、経理担当者による不正や脱税を引き起こす原因となる。更には、各帳票は様式も異なるので、データをコンピュータに入力するには多大な労力と時間を必要としていた。

【解決手段】現金出納・仕訳帳A1は現金取引記入欄1と、その右側に並べて表示してある現金以外の取引記入欄2を備えている。現金取引記入欄1は図において行方向に日付記入欄11と、相手科目記入欄12と、取引内容記入欄13と、入金記入欄14と、出金記入欄15と、残高記入欄16がこの順序で設けられている。現金以外の取引記入欄2は図において行方向に日付記入欄21と、借方科目記入欄22と、借方金額記入欄23と、取引内容記入欄24と、貸方科目記入欄25と、貸方金額記入欄26がこの順序で設けられている。

1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 経理業務に使用する現金出納・仕訳帳であって、

現金取り引きを記入する現金取引記入欄と、  
現金以外の取り引きを記入する現金以外の取引記入欄と、  
が並べて表示してあり、  
上記現金取引記入欄は、

日付記入欄と、

相手科目記入欄と、

取引内容記入欄と、

入金記入欄と、

出金記入欄と、

残高記入欄と、を備えており、

上記現金以外の取引記入欄は、

日付記入欄と、

取引内容記入欄と、

借方科目記入欄と、

借方金額記入欄と、

貸方科目記入欄と、

貸方金額記入欄と、を備えていることを特徴とする、現金出納・仕訳帳。

【請求項2】 上記借方科目記入欄と上記貸方科目記入欄が隣接して表示してあることを特徴とする、

請求項1記載の現金出納・仕訳帳。

【請求項3】 上記借方金額記入欄と上記貸方金額記入欄が統合されていることを特徴とする、

請求項1または2記載の現金出納・仕訳帳。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、現金出納・仕訳帳に関するものである。更に詳しくは入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳を一つに統合し、管理業務やコンピューターへの入力が容易にできる現金出納・仕訳帳に関するものである。

【0002】

【従来技術】従来の経理業務においては、現金入金には入金伝票、現金出金には出金伝票、現金の伴わない取り引きには振替伝票が使用されており、取り引き毎にそれらの伝票に記入し、出金伝票と入金伝票の記入値を現金出納帳に転記して現金残高を計算し、実際の現金在り高と照合する方法がとられていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上記したような従来の帳簿方式では、次のような課題があった。

(a) 入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を使用するために、経理が専門的になり、最終的には経理担当者がまとめることになる。このため、帳簿内容が経営者や一般従業員の目に届かない存在となりやすく、経理担当者による不正や脱税を引き起こす原因となる。

2

(b) 現金残高の照合には入金伝票から現金出納帳への転記が必要であるが、この際に転記ミスが生じやすく、照合に相当な時間を要していた。

【0004】(c) 最低限必要な記入が、一応は入金伝票、出金伝票、振替伝票になされているので、現金出納帳への転記作業を後日まとめてしようとしがちである。このため、月々の際の作業が大変な量となりやすく、この場合、転記や照合に多大の労力と時間が必要であった。

10 (d) 従来の振替伝票等は、最低でも一日につき一枚は必要であり、用紙の無駄になることが多く、量も膨大になるために、過去の取引を検索する際にも効率が悪かった。また、帳票の管理が煩雑であるため帳票を紛失してしまう心配があった。

【0005】(e) 経理業務においてもコンピューター化が進み、企業や商店など加速度的に導入が進んでいる。コンピューターに取引の仕訳を入力すれば必要な帳簿のすべてを出力できるようになり便利ではあるが、反面、不正な仕訳が入力されていても結果が正当であるかのように出力されるという問題もある。そこで、入力に至るまでの過程でいかに不正をなくし、正しく効率的に処理するかが課題となる。しかし、従来の帳簿方式では、帳票の種類も多く、様式も異なるので、データをコンピューターに入力するには多大な労力と時間を必要とする。また、帳票が単一樣式でないことによって、入力重複、装置開発の困難さ、ファクシミリ送受信の煩雑さ等様々な課題を生じている。

【0006】本発明は上記課題を解消するもので、従来から使用されていた入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票をまとめて様式を単一化し、毎日の記帳を容易にまとめることができる現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。また、記帳、管理業務を複数人でできるようにして、税務上、信頼性の高い現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。更には、コンピューターへの入力やOCRによる自動読み取り、ファクシミリ送受信が容易にできる現金出納・仕訳帳を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために講じた本発明の手段は次のとおりである。第1の発明にあつては、経理業務に使用する現金出納・仕訳帳であつて、現金取り引きを記入する現金取引記入欄と、現金以外の取り引きを記入する現金以外の取引記入欄と、が並べて表示してあり、上記現金取引記入欄は、日付記入欄と、相手科目記入欄と、取引内容記入欄と、入金記入欄と、出金記入欄と、残高記入欄と、を備えており、上記現金以外の取引記入欄は、日付記入欄と、取引内容記入欄と、借方科目記入欄と、借方金額記入欄と、貸方科目記入欄と、貸方金額記入欄と、を備えている、現金出納・仕訳帳である。

50

【0008】第2の発明にあっては、上記借方科目記入欄と上記貸方科目記入欄が隣接して表示してある、第1の発明に係る現金出納・仕訳帳である。

【0009】第3の発明にあっては、上記借方金額記入欄と上記貸方金額記入欄が統合されている、第1または第2の発明に係る現金出納・仕訳帳である。

【0010】日付記入欄は、取り引きが行われた日付を記入するものである。相手科目記入欄は、取り引きの目的、対象などを記入するものである。取引内容記入欄は、現金で取り引きされた取引内容の具体的な内容を記入するものである。入金記入欄は、現金で入金された金額を記入するものである。出金記入欄は、現金で出金された金額を記入するものである。残高記入欄は、入金または出金時点での現金の残高を記入するものである。取引内容記入欄は、現金以外で取り引きされた取引内容の詳細を記入するものである。

【0011】借方科目記入欄は、現金以外で取り引きされた取引に関する借方科目（資産の増加、負債の減少、資本の減少、収益の減少、費用の発生を示す勘定科目）を記入するものである。貸方科目記入欄は、現金以外で取り引きされた取引に関する貸方科目（資産の減少、負債の増加、資本の増加、収益の発生、費用の減少を示す勘定科目）を記入するものである。借方金額記入欄と貸方金額記入欄は、現金以外で取り引きされた借方科目と貸方科目の金額を記入するものである。

【0012】（作 用）現金出納・仕訳帳の現金取引記入欄には、日付ごとに取り引きのあった相手科目とその取引内容、入出金とその都度記入される。現金出納・仕訳帳の現金以外の取引記入欄には、日付ごとに取引のあった取引内容、借方科目、貸方科目とそれぞれの金額が記入される。

【0013】現金出納・仕訳帳は、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の機能を様式に統合しているので、取引の発生時にはそれぞれの担当者が同じ帳簿に各取引を記帳することになり、その都度帳簿が作成されていく。これによって、帳簿の現金残高の計算と実際の現金在り高の照合のみで一日の記帳が完結する。また、帳簿を直接記入し作成していくので、従来のように入出金伝票から現金出納帳に転記する必要がなく、転記ミスの心配もなくなるので、業務の効率が向上する。

【0014】記帳される各欄が取引内容と関連付けられているので記帳が専門的にならず、経理担当者だけでなく、経営者や一般従業員がみても内容がつかみやすい。また、上記取引内容の記入は、通常はそれぞれの担当者が記入するので、複数の人が記入に携ることになる。従って、税務上、帳簿の信頼性が高く、不正なども起こりにくい。また、例えば、各部門ごとに使用すると、信頼性の高い帳簿が毎日作成されるため、内部監査等も効率化できる。

【0015】記帳は経時的に行うようになっているの

で、一日の現金取引をすべて記入しないと次の日の取引内容が記帳できなくなる。従って、日々の現金残高照合が習慣となり、月毎にまとめて大量の記帳や照合をしなくてはならなくなることを防止できる。

【0016】日々の記帳には現金出納・仕訳帳しか使用しないので、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を別々に使用していた従来の方式と比較して用紙を大幅に節約できる。これは、省資源の観点からも、特に有用である。また、従来のように帳票を紛失する心配もなくなり、これが原因で経理業務に支障をきたすことはない。

【0017】現金出納・仕訳帳には、従来使用されている各帳票に記入される項目を同様に備えているので、記入された内容から総勘定元帳、売掛帳、買掛帳、計算表など全ての必要な帳簿が容易に作成できる。また、記帳内容の一覧性が高いので整理、保管が簡単であり、過去の取引の検索なども容易にできる。

【0018】経理業務をコンピューター化する際のOCRによる自動読み取りについても、現金出納・仕訳帳のみを読み込むだけでよいので、読み取り装置の開発あるいは操作が簡単になる。また、ファクシミリによる送受信の場合も、現金出納・仕訳帳のみを送受信すればよく、従来と比較して送受信作業の煩わしさを軽減できる。

【0019】借方科目記入欄と貸方科目記入欄が隣接して表示してあるものにあつては、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0020】借方金額記入欄と貸方金額記入欄が統合されているものにあつては、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。なお、この借方金額及び貸方金額は、売掛金及び買掛金や当座預金から普通預金への振替等を記載していくので、原則として借方、貸方とも金額は同じになり、双方を統合しても実務上支障はない。

【0021】

【発明の実施の形態】本発明を図面に示した実施例に基づき更に詳細に説明する。図1は本発明に係る現金出納・仕訳帳の第1の実施の形態を示し、取引内容や金額などを記入した状態を示す説明図である。符号A1は現金出納・仕訳帳で、現金取引記入欄1と、その右側に並べて表示してある現金以外の取引記入欄2を備えている。現金取引記入欄1は現金での取引内容や科目を記入するもので、図において行方向（横方向）に日付記入欄11と、相手科目記入欄12と、取引内容記入欄13と、入金記入欄14と、出金記入欄15と、残高記入欄16がこの順序で設けられている。なお、この順序は適宜変えることもできる。

【0022】現金以外の取引記入欄2は現金以外での取引内容や科目を記入するもので、図において行方向に日

付記入欄21と、借方科目記入欄22と、借方金額記入欄23と、取引内容記入欄24と、貸方科目記入欄25と、貸方金額記入欄26がこの順序で設けられている。上記記入欄11、12、13、14、15、16、21、22、23、24、25、26は線分で区画されて列方向へ経時的に記入できるよう設けてある。

【0023】図1を参照して本実施の形態の作用を説明する。

(1) 現金取引があった場合

現金取引記入欄1の日付記入欄11にその発生した日付を記入する。相手科目記入欄12に相手科目を記入する。これには現金の取引の目的や対象などを記入する。相手科目はコンピューター処理が簡単のように、予めコード化して処理するようにしてもよい。取引内容記入欄13に相手科目の具体的な内容を記入する。これによって、図に示すように、例えば相手科目記入欄12は同じ「普通預金」であるが、取引された銀行が異なっていることがわかる(8月23日のa、8月25日のbの行を比較参照)。

【0024】入金記入欄14、出金記入欄15にはそれぞれ取引があった金額を記載する。残高記入欄16は一日の取引において最終残高のみを記入する。残高記入欄16は一日ごとの記載になり、最終的な実際の現金在り高と照合すれば、その日の入出金額の記入に間違いがないか簡単に確認できる。また、取引内容は経時的に記入するようになっているので、取引ごとに確実に記載しなければ計算が合わなくなる。従って、後日まとめて記入するということがなくなる。更には、転記する必要がないので、業務の効率化を図ることができる。

【0025】(2) 現金以外の取引があった場合  
日付記入欄21にその日付を記入し、借方科目記入欄22と貸方科目記入欄25にそれぞれ科目を記入する。これは現金以外の取引の対象または目的などを記入する。借方科目及び貸方科目は、コンピューター処理が簡単のように、上記相手科目と同様に予めコード化して処理してもよい。取引内容記入欄24には科目の具体的な内容を記入する。これによって、取引内容が明確になる。借方金額記入欄23と貸方金額記入欄26にはそれぞれ取引があった金額を記載する。また、現金取引記入欄1と現金以外の取引記入欄2が並べて表示してあるので一日の取引がすべて一覽できる。

【0026】図2は本発明に係る現金出納・仕訳帳の第2の実施の形態を示し、取引内容や金額などを記入した状態を示す説明図である。なお、図面において上記現金出納・仕訳帳A1と同一または同等箇所には同一の符号を付して示している。本実施の形態に係る現金出納・仕訳帳A2では、借方科目記入欄22と貸方科目記入欄25が隣接して設けられている。これによれば、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0027】また、現金出納・仕訳帳A1における借方金額記入欄23と貸方金額記入欄26は、現金出納・仕訳帳A2においては金額記入欄27として統合されて設けられている。これによれば、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。なお、本発明は図示の実施例に限定されるものではなく、特許請求の範囲の記載内において種々の変形が可能である。

【0028】

【発明の効果】本発明は上記構成を備え、次の効果を有する。

(a) 現金出納・仕訳帳は、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の機能を一様式に統合しているので、取引の発生時にはそれぞれの担当者が同じ帳簿に各取引を記帳することになり、その都度帳簿が作成されていく。これによって、帳簿の現金残高の計算と実際の現金在り高の照合のみで一日の記帳が完結する。また、帳簿を直接記入し作成していくので、従来のように入出金伝票から現金出納帳に転記する必要がなく、転記ミスの心配もなくなるので、業務の効率が向上する。

【0029】(b) 記帳される各欄が取引内容と関連付けられているので記帳が専門的にならず、経理担当者だけでなく、経営者や一般従業員がみても内容がつかみやすい。また、上記取引内容の記入は、通常はそれぞれの担当者が記入するので、複数の人が記入に携ることになる。従って、税務上、帳簿の信頼性が高く、不正なども起こりにくい。また、例えば、各部門ごとに使用する、信頼性の高い帳簿が毎日作成されるため、内部監査等も効率化できる。

【0030】(c) 記帳は経時的に行うようになっているので、一日の現金取引をすべて記入しないと次の日の取引内容が記帳できなくなる。従って、日々の現金残高照合が習慣となり、月々にまとめて大量の記帳や照合をしなくてもよくなることを防止できる。

【0031】(d) 日々の記帳には現金出納・仕訳帳しか使用しないので、入金伝票、出金伝票、振替伝票、現金出納帳の四種類の帳票を別々に使用していた従来の方式と比較して用紙を大幅に節約できる。これは、省資源の観点からも特に有用である。また、従来のように帳票を紛失する心配もなくなり、これが原因で経理業務に支障をきたすことはない。

【0032】(e) 現金出納・仕訳帳には、従来使用されている各帳票に記入される項目を同様に備えているので、記入された内容から総勘定元帳、売掛帳、買掛帳、計算表など全ての必要な帳簿が容易に作成できる。また、記帳内容の一覧性が高いので整理、保管が簡単であり、過去の取引の検索なども容易にできる。

【0033】(f) 経理業務をコンピューター化する際のOCRによる自動読み取りについても、現金出納・仕訳帳のみを読み込むだけでよいので、読み取り装置の開発あるいは操作が簡単になる。また、ファクシミリによ

7

る送受信の場合も、現金出納・仕訳帳のみを送受信すればよく、従来と比較して送受信作業の煩わしさを軽減できる。

【0034】(g) 借方科目記入欄と貸方科目記入欄が隣接して表示してあるものにあつては、取引による金銭の移動がより明確になり、貸借についての経理指導や記帳指導が容易になる。

【0035】(h) 借方金額記入欄と貸方金額記入欄が統合されているものにあつては、金額を記入する作業が一度で済むので、効率的である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる現金出納・仕訳帳の第1の実施の形態を示し、取引内容や金額を記入した状態を示す説明図。

【図2】本発明にかかる現金出納・仕訳帳の第2の実施の形態を示し、取引内容や金額を記入した状態を示す説明図。

8

【符号の説明】

A1、A2 現金出納・仕訳帳

1 現金取引記入欄

11 日付記入欄

12 相手科目記入欄

13 取引内容記入欄

14 入金記入欄

15 出金記入欄

16 残高記入欄

10 2 現金以外の取引記入欄

21 日付記入欄

22 借方科目記入欄

23 借方金額記入欄

24 取引内容記入欄

25 貸方科目記入欄

26 貸方金額記入欄

27 金額記入欄

【図1】

現金出納帳											現金以外の取引帳										
A1											A2										
月	日	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	取引内容	入金	出金	残高	日付	借方科目	借方金額	貸方科目	貸方金額	取引内容	入金	出金	残高	日付	借方科目	借方金額
1	1	現金		現金	100.00	現金取引	100.00		100.00	1	現金		現金	100.00	現金取引	100.00		100.00	1	現金	
1	2	現金		現金	200.00	現金取引	200.00		200.00	2	現金		現金	200.00	現金取引	200.00		200.00	2	現金	
1	3	現金		現金	300.00	現金取引	300.00		300.00	3	現金		現金	300.00	現金取引	300.00		300.00	3	現金	
1	4	現金		現金	400.00	現金取引	400.00		400.00	4	現金		現金	400.00	現金取引	400.00		400.00	4	現金	
1	5	現金		現金	500.00	現金取引	500.00		500.00	5	現金		現金	500.00	現金取引	500.00		500.00	5	現金	
1	6	現金		現金	600.00	現金取引	600.00		600.00	6	現金		現金	600.00	現金取引	600.00		600.00	6	現金	
1	7	現金		現金	700.00	現金取引	700.00		700.00	7	現金		現金	700.00	現金取引	700.00		700.00	7	現金	
1	8	現金		現金	800.00	現金取引	800.00		800.00	8	現金		現金	800.00	現金取引	800.00		800.00	8	現金	
1	9	現金		現金	900.00	現金取引	900.00		900.00	9	現金		現金	900.00	現金取引	900.00		900.00	9	現金	
1	10	現金		現金	1000.00	現金取引	1000.00		1000.00	10	現金		現金	1000.00	現金取引	1000.00		1000.00	10	現金	
1	11	現金		現金	1100.00	現金取引	1100.00		1100.00	11	現金		現金	1100.00	現金取引	1100.00		1100.00	11	現金	
1	12	現金		現金	1200.00	現金取引	1200.00		1200.00	12	現金		現金	1200.00	現金取引	1200.00		1200.00	12	現金	
1	13	現金		現金	1300.00	現金取引	1300.00		1300.00	13	現金		現金	1300.00	現金取引	1300.00		1300.00	13	現金	
1	14	現金		現金	1400.00	現金取引	1400.00		1400.00	14	現金		現金	1400.00	現金取引	1400.00		1400.00	14	現金	
1	15	現金		現金	1500.00	現金取引	1500.00		1500.00	15	現金		現金	1500.00	現金取引	1500.00		1500.00	15	現金	
1	16	現金		現金	1600.00	現金取引	1600.00		1600.00	16	現金		現金	1600.00	現金取引	1600.00		1600.00	16	現金	
1	17	現金		現金	1700.00	現金取引	1700.00		1700.00	17	現金		現金	1700.00	現金取引	1700.00		1700.00	17	現金	
1	18	現金		現金	1800.00	現金取引	1800.00		1800.00	18	現金		現金	1800.00	現金取引	1800.00		1800.00	18	現金	
1	19	現金		現金	1900.00	現金取引	1900.00		1900.00	19	現金		現金	1900.00	現金取引	1900.00		1900.00	19	現金	
1	20	現金		現金	2000.00	現金取引	2000.00		2000.00	20	現金		現金	2000.00	現金取引	2000.00		2000.00	20	現金	
1	21	現金		現金	2100.00	現金取引	2100.00		2100.00	21	現金		現金	2100.00	現金取引	2100.00		2100.00	21	現金	
1	22	現金		現金	2200.00	現金取引	2200.00		2200.00	22	現金		現金	2200.00	現金取引	2200.00		2200.00	22	現金	
1	23	現金		現金	2300.00	現金取引	2300.00		2300.00	23	現金		現金	2300.00	現金取引	2300.00		2300.00	23	現金	
1	24	現金		現金	2400.00	現金取引	2400.00		2400.00	24	現金		現金	2400.00	現金取引	2400.00		2400.00	24	現金	
1	25	現金		現金	2500.00	現金取引	2500.00		2500.00	25	現金		現金	2500.00	現金取引	2500.00		2500.00	25	現金	
1	26	現金		現金	2600.00	現金取引	2600.00		2600.00	26	現金		現金	2600.00	現金取引	2600.00		2600.00	26	現金	

(6)

特開平9-277745

【図2】

1					2				
会社名 部門名 元金 利息 引当金 繰上金					会社名 部門名 元金 利息 引当金 繰上金				
月	日	科目	金額	単位	月	日	科目	金額	単位
1	1	現金	10,000	円	1	1	現金	10,000	円
1	2	現金	10,000	円	1	2	現金	10,000	円
1	3	現金	10,000	円	1	3	現金	10,000	円
1	4	現金	10,000	円	1	4	現金	10,000	円
1	5	現金	10,000	円	1	5	現金	10,000	円
1	6	現金	10,000	円	1	6	現金	10,000	円
1	7	現金	10,000	円	1	7	現金	10,000	円
1	8	現金	10,000	円	1	8	現金	10,000	円
1	9	現金	10,000	円	1	9	現金	10,000	円
1	10	現金	10,000	円	1	10	現金	10,000	円
1	11	現金	10,000	円	1	11	現金	10,000	円
1	12	現金	10,000	円	1	12	現金	10,000	円
1	13	現金	10,000	円	1	13	現金	10,000	円
1	14	現金	10,000	円	1	14	現金	10,000	円
1	15	現金	10,000	円	1	15	現金	10,000	円
1	16	現金	10,000	円	1	16	現金	10,000	円
1	17	現金	10,000	円	1	17	現金	10,000	円
1	18	現金	10,000	円	1	18	現金	10,000	円
1	19	現金	10,000	円	1	19	現金	10,000	円
1	20	現金	10,000	円	1	20	現金	10,000	円
1	21	現金	10,000	円	1	21	現金	10,000	円
1	22	現金	10,000	円	1	22	現金	10,000	円
1	23	現金	10,000	円	1	23	現金	10,000	円
1	24	現金	10,000	円	1	24	現金	10,000	円
1	25	現金	10,000	円	1	25	現金	10,000	円
1	26	現金	10,000	円	1	26	現金	10,000	円
1	27	現金	10,000	円	1	27	現金	10,000	円
1	28	現金	10,000	円	1	28	現金	10,000	円
1	29	現金	10,000	円	1	29	現金	10,000	円
1	30	現金	10,000	円	1	30	現金	10,000	円
1	31	現金	10,000	円	1	31	現金	10,000	円